

第91回日本音楽コンクール2位・聴衆賞

フルート部門本選会

鎌田さん(鶴岡市出身)



鶴岡市出身のフルート奏者・鎌田邦俊さん(29)＝写真＝が、26日に東京都新宿区の東京オペラシティで開かれた第91回日本音楽コンクール(毎日新聞社、NHK主催)のフルート部門本選会で2位に入賞するとともに、岩谷賞(聴衆賞)を受賞した。鎌田さんは在日日報の取材に「多くの方々から温かい応援を頂いた。これまでの頑張りが報われ、とても良い結果が付いてきた」と喜びを語った。

自分の理想に向けて一歩ずつ

権威と伝統のあるクラシック音楽のコンクールの一つで、若手音楽家の登竜門として知られている。フルート部門は3年に1度行われ、17～29歳が対象。今回は191人が応募し、3度にわたる予選を通った4人が本選に進んだ。本選の課題は「40分以内

す。何より聴衆賞を頂いたことが自分にとって一番の誇りです。これからは新たなスタート。故郷での演奏

会を継続しながら、自分の理想に向けて一歩ずつ進んでいきます」と語った。

鎌田さんは鶴岡南高から京都市立芸術大音楽学部に進み、同大学院音楽研究科修了。現在は京都を拠点に活動し、オーケストラへの客演やソロ、室内楽の演奏、後進の指導に力を注いでいる。故郷の鶴岡では2014年から毎年、リサイタルを開催している。

の小リサイタルプログラムを構成し演奏。スタイルの異なる作品をバランスよくまとめる」。鎌田さんは「ロコフィエフ作曲「フルート・ソナタ 二長調 作品94」、ハインドソン作曲「オデュッセウスとセイレーン」を演奏した。岩谷賞は本選での聴衆による投票を行い、強い印象を受け感動したとして最多得票の出場者に主催者から贈られるもの。11月16日に都内で表彰式があり、同日午後7時半からNHK-FMラジオで本選の演奏が放送される。2位入賞と受賞に鎌田さんは「権威あるコンクールで認められたのは心からうれしく、自信につながりま